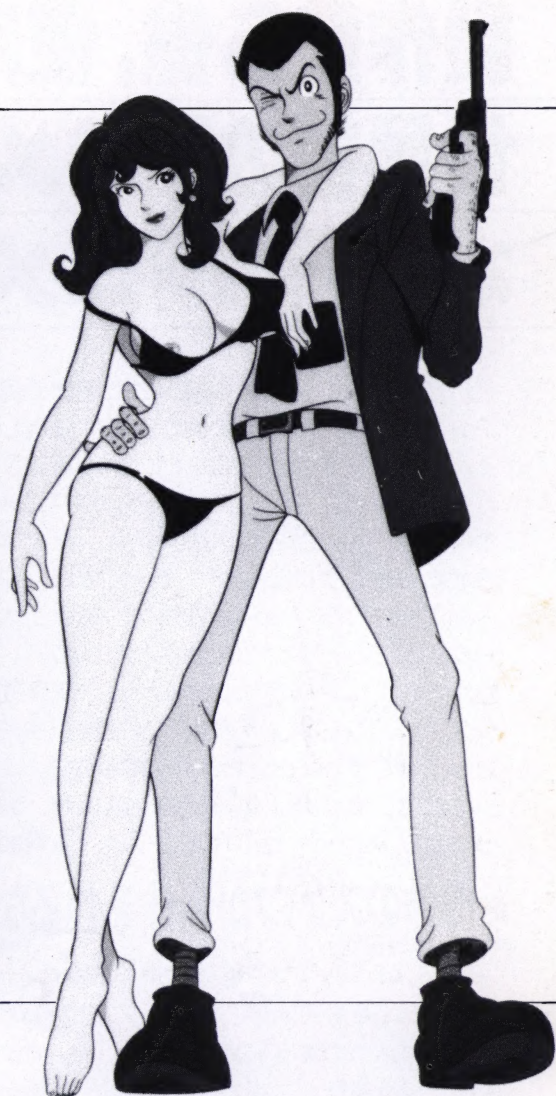
Lupin the 3rd
ルパン三世

Lupin the 3rd

昭和53年編集発行改訂版

ルパン三世

監督●吉川惣司／原作●モンキー・パンチ「週刊漫画アクション」連載
製作●株式会社東京ムービー新社／配給●東宝株式会社

東宝

●アニメビジョン方式とは……

アニメーションとビスタビジョンの合成語。ビスタ・サイズに合わせた普通より大型の特別セルを使用，背景を多量にし，色彩も通常より変化に富む工夫がなされている。これにより，光線を放射するテレビとは違い，投射方式で上映する映画劇場で，より鮮明な映像をつくりあげることができるのである。

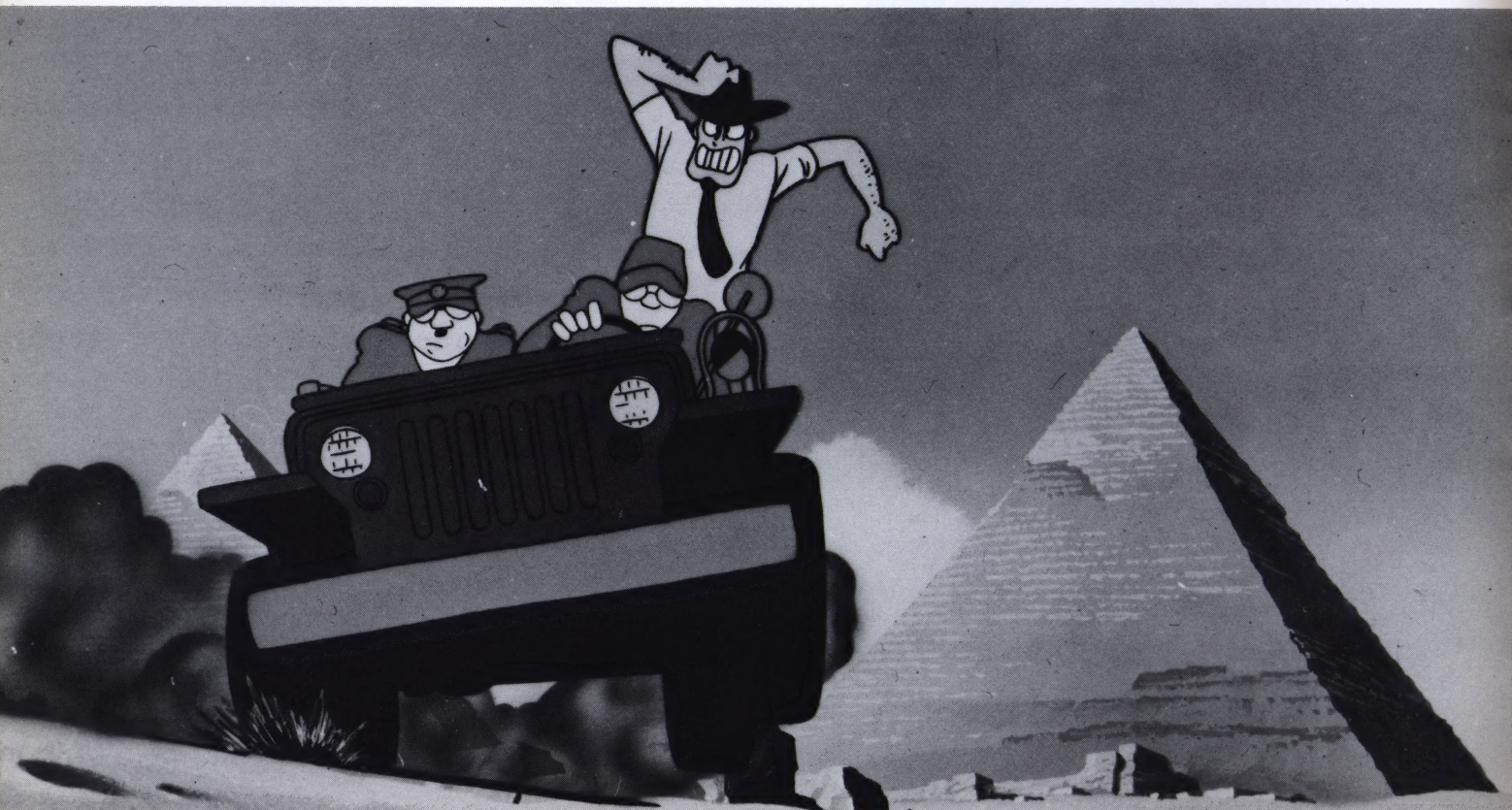
製作費5億，使用セル6万2千枚，世界初のアニメビジョン方式——本格派のアニメーションがやってきた!!

《ルパンは私の恋人》《ルパンこそ理想の男性》といったファン・レターが未だに製作会社に殺到している。もちろん不二子，次元，五右ェ門らのルパン・ファミリー宛にも同じような手紙が舞い込んで，アニメーション時代の申し子「ルパン三世」の人気は，とどまるところを知らずに過熱しているのだ。テレビ放映（日本テレビをキー局に全国22局ネット）は常時20%以上の高視聴率をマーク，コロムビアから発売されたレコードは，シングル盤20万枚，ＬＰ15万枚の大ヒット，双葉社発行のコミックス「ルパン三世」「新ルパン三世」も，各巻30万部以上を記録しているというから驚異的だ。

これは，その超人気作品の映画化だ。劇場用新作とあって使用アニメ・セル６万２千枚，通常30分のＴＶアニメで平均５千枚程度だから，１時間40分のこの映画がいかに丁寧に作られているかわかるだろう。しかも，世界初のアニメビジョン方式（前述）を採用しているため，製作費は５億円と日本映画としては大作並み。

内容は御存知「００７シリーズ」のスピード・スリル・アクションにお色気を加え，奇想天外なアイデアと，「スター・ウォーズ」の大がかりな仕掛けをかねそなえ，おなじみルパン・ファミリーが大暴れするもの。しかもこれは映画だ。テレビでは描ききれなかった破天荒な場面やトリックがジャカスカ登場，ストーリーもグッと密度アップして，まさに映画ならではの超娯楽大作となっている。大人も楽しめる，アニメーションの本格派がやってきた！

★旧作のスタッフが新作を作るなんてホントに素晴らしい！

テレビ版「ルパン三世」は現在放映中のものを含め３作品あるが最も初期の旧シリーズ（昭和46年10月～47年３月）はメカのキメ細かさ，アクションの派手さ，こったストーリー運び，主役たちの個性的なキャラクター等々，どれをとってみても，ピカッと光る一級品の香りを持っていた。だからあちこちから「旧シリーズを見せろ！」と叫ぶ，ホントのファンの声が聞こえてくるのだ。そこで，そんな熱烈なファンの声に応えようと企画されたの

がこの映画。もちろん劇場で上映する以上，旧シリーズをつぎはぎしたあやしげな《総集編》とやらを作っても面白くない。そこで，いまや在野に散り，一国一城の主となっている旧シリーズのスタッフを呼び戻しまったく新しいオリジナル脚本を書き下して劇場用新作を製作したワケだ。この作品，圧倒的評価を得た旧シリーズのとぎすまされた感覚に，さらに磨きがかけられていることはいうまでもないだろう。

スタッフをみてごらん。まず，監修が旧ルパン生みの親でメカにかけては日本一の大塚康生，演出は旧ルパン第１話「ルパンは燃えているか」から最終話「黄金の大勝負」を手がけた吉川惣司，レイアウトはテレビのルパンが生まれる以前に作られたあの幻のパイロット・フィムから参加している芝山努，作画監督はもちろん椛島義夫，脚本に《ルパン・アイデアグループ》の中心・大和屋竺，それに，音楽は，ルパンはもとより「犬神家の一族」「人間の証明」などで映画音楽の新しい世界を切りひらいた大野雄二ときているからこたえられない。これではもう，映画「ルパン三世」をみることなくして，ルパン・ファンだなんて名乗れなくなりますナ。

★実証主義でガンバッテるから、すべてにホンモノの味がする。

「クルマ？クルマなんてものはこの世に存在しないんだよ。この世に実際あるのは，ポルシェの12Sとか，アルファロメオとか，具体的な形と特徴をもった物体なんだ」

これが，監修の大塚康生の口ぐせだ。作画にたずさわるものは，このきびしい実証主義のために，文献をあさり，写真をとりよせ，いつも猛勉強。拳銃ひとつにしても，だれがなんという名の銃を持っているかが明確にされている（イラスト説明参照)。この映画，大型空母や高速艇，超特大トレーラー，爆撃機から新鋭機まで，ゾクゾクするようなメカのオンパレード。これはすべて実証主義で描いているのだからメカファンにはこたえられない。取りよせた参考資料はナント１万８千点。

ルパンVS複製人間
世界史をぬりかえるのはどっちだ!?

天才的盗賊ルパン三世は死んだ。奴を逮捕することだけが生きがいだった銭形警部は，いまや労働意欲を失い京都の山寺でボケーッとだらしなく生きている。

ところがそんなある日，風の便りに銭形は，ルパンの昔の相棒たちが動き出しているという噂を耳にする。《ルパンは生きている！》銭形はルパンの墓へまっしぐら，はたして棺の中に身を横たえているはずのルパンの死体が――ない！　うぬぬぬぬ，ルパン三世め！　眠っていた刑事の血がドドッと逆流，ゾクゾク身震いする銭形のとっつあん。

というわけで，こちらエジプトはファラオの墓。拳銃の名手・次元大介，『斬鉄剣』を腰に天下一の剣のつかい手・石川五右ェ門，そしてルパンの３人が墓の中に忍び込む。狙いは『賢者の石』と称される石っころ。みごとに盗み出しに成功した３人，コウモリ型の特大ハンググライダーに乗って，追ってきた銭形警部にグッド・バイ！

ルパンが『賢者の石』を盗んだのは，首ったけのセクシーガール・峰不二子に頼まれたからなのだ。報酬は現金１億円とデート…♡しかし，不二子は『賢者の石』を受けとるやいなや，キスを迫るルパンをしりめにハーレーで逃亡，その石ころをマモーなる謎の人物へプレゼント。が，開けてビックリ，バックの中にはただの石っころがゴロゴロ。ルパンもなかなか抜け目がない。

《いったいこんな石ころにどんな秘密があるのか》とルパンたちは不二子の動きを探る。もちろんルパンのあとには銭形の影がチョロチョロ。しかし意外にも不二子は，マモーにとらわれの身となっていた。自分の姿はぜったいにみせず，少年のような老人のような不気味な声でささやくだけのマモー，いったいこの人物の正体は……!?

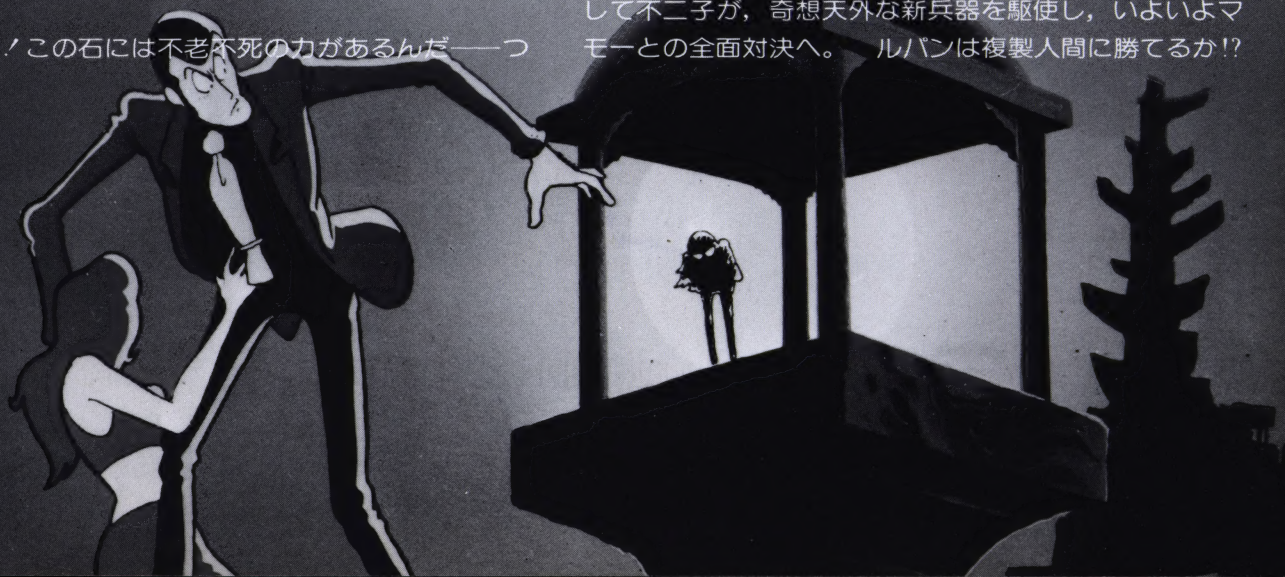
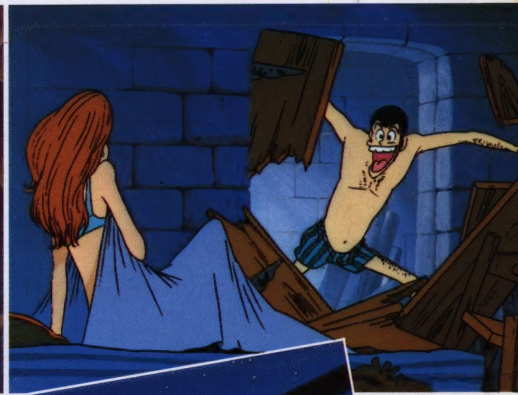
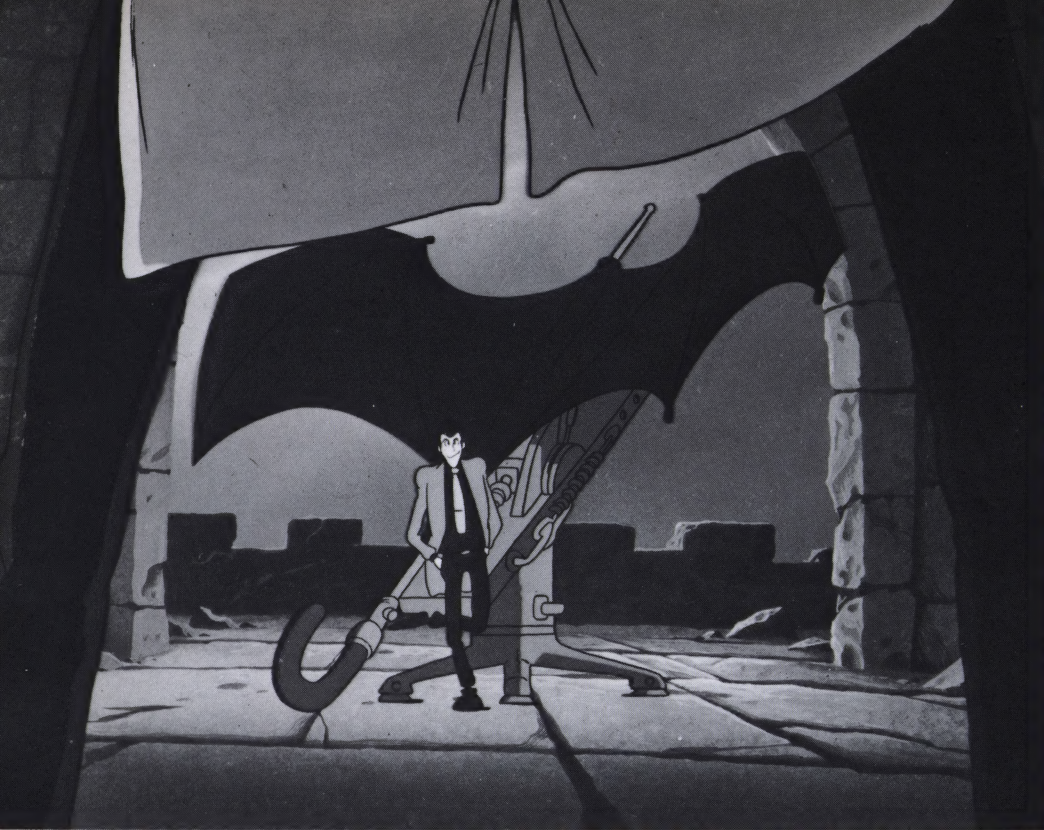
わかった！この石には不老不死の力があるんだ――ついにルパンは『賢者の石』の秘密をつきとめ，不二子救出に向う。しかし悲しいかな不二子に裏切られ，あいそをつかした次元と五右ェ門がルパンのもとを去った。ひとり残されたルパンの前に現われたのが半裸の不二子。ウヒヒヒヒ……♡　スケベエ心をつけこまれ，油断大敵ついにルパンはマモーの手中におちてしまった！　戻ってきた次元と五右ェ門があとを追うがもうおそい！

――カリブ海上の孤島。アラビア風の宮殿に連れ込まれたルパンがそこでみたもの，それは，古代からの歴史上の偉人たち＝孔子，ジャンヌ・ダルク，ダヴィンチ，マルクス，ヒットラー，毛沢東＝等のコレクションだった。しかも偉人たちは皆いまも生きているのだ！《ルパン三世，きみもこのコレクションに加えたい》というマモーの声が響いてきた……。

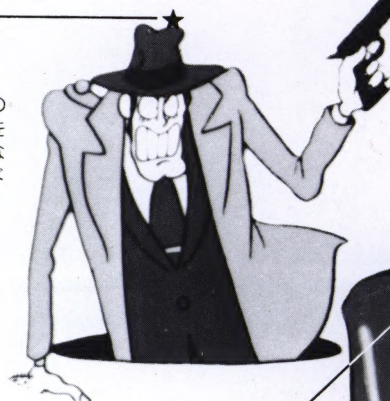
ルパン危うし，と思ったそのとき，次元と五右ェ門が宮殿に乱入してきた。火を吹く次元のマグナム，さえわたる五右ェ門の斬鉄剣！　こうなったら不二子も，いまやルパンの味方だ。４人は高速艇で宮殿を脱出！　とり残された銭形のとっつあん，マモー軍のジュウタン爆撃にあって丸焼けでやけ気味。

いまや全人類は，自ら《神》を名乗るマモーの恐るべき脅威にさらされていた。マモーは，１万年の昔から自己を完全にコピーしつづけて生きたきた《クローン＝複製人間》だったのである。

「人間の世界に干渉するのは，実にゆかいなゲームだ。ルネサンス，フランス革命，第２次世界大戦，中東戦争……私の思うままに世界は発展し，変化していったのだ！」

マモーの暴挙を許すな！　ルパン，次元，五右ェ門，そして不二子が，奇想天外な新兵器を駆使し，いよいよマモーとの全面対決へ。　ルパンは複製人間に勝てるか!?

勢ぞろい ルパン ファミリー

銭形警部

江戸の目明し・銭形平次直系の九代目。ICPO(国際刑事警察機構)からルパン三世の逮捕を依頼され、いまやルパン逮捕に生涯をかけているマジメ人間。しかし、その優秀な頭脳もルパンにあっては片ナシで、いつもドジばかり。

★コルト45・ガバメント・モデル。アメリカ陸軍にも採用された、命中率が高く、耐久力もある7連発銃である。アメリカ、コルト社製。

斬鉄剣。日本三大名刀の虎徹・村正・正宗を打ち直したもので、鉄も切れる名刀である。

複製人間マモー

自らを複製しつづけることによって、すでに一万年も生きてきた男。あらゆる歴史を動かし、全人類に君臨してきた 神 であると自称している。

●複製人間とは……

ふつうクローン人間といわれている。つまり、ある人の細胞を取り出し、それを増殖成長させることによって、その人とまったく同じ人間をつくり出すことである。したがって、精子と卵子の結合というプロセスを必要とする試験管ベビーとは決定的に違う。最近、アメリカの大富豪が自分の複製人間を誕生させることに成功したと報道され真疑のほどが話題となっている。

石川五右ェ門

かの大盗族・石川五右ェ門より数えて13代目で瞑想的居合斬りの達人。たくあん、みそ汁、そしてあの古典的な下着を愛し、反対に、非情さ、ずるさ、派手さを最もきらう日本男児である。

メルセデス・ベンツSSK。ヴィンテージ期のドイツを代表する最高のスポーツ・カー。ルパンが愛用しているのは、1928年型で6気筒7200cc、スーパー・チャージ付。大量の排気をスムーズに行なうために、排気管をボンネットの横に出している。

カーマニアで知られたヒットラーもこの車を愛用していた。

峰不二子

あるときはルパンの味方、あるときは敵。自分の欲望を満たすためには徹底的にクールになる正体不明の美女。シャネルの5番を愛用し、ミニ・ドレスの下には愛銃ブローニングをかくし持ち、ハーレー・ダビットソンを乗り回すスーパーレディ。

サイズはB99.9cm　W55.5cm　H88.8cm

ルパン三世

年令、国籍不詳

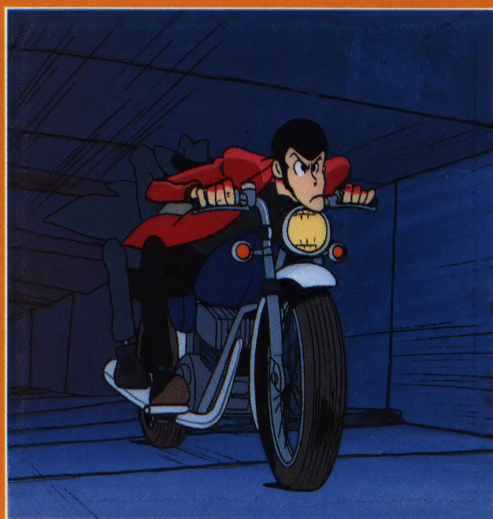
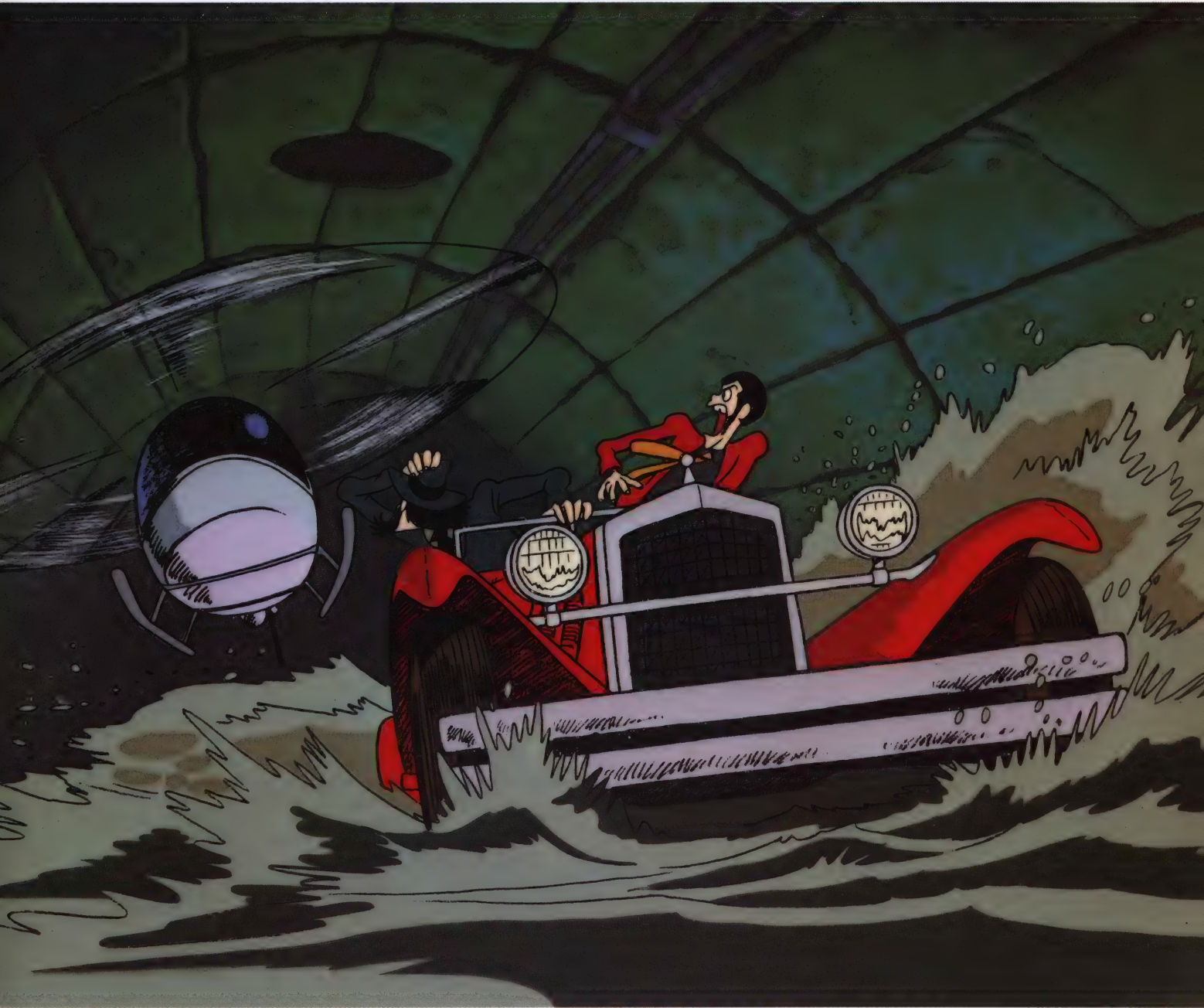
フランスの生んだ稀代の怪盗アルセーヌ・ルパンの孫。細身で長身、ひどいガニマタ。その鋭敏な頭脳と盗みのテクニックは右に出るものなし。スタイリストだが女たらし―それがただひとつの欠点。

次元大介

0.2秒の早撃ちという拳銃の名手。ルパンの最も信頼できる相棒。しかし、ルパンとは正反対の女ぎらい。だが、心の中では不二子にホレているという説もある。

ペルメルのキングサイズ（ダサイ奴は、これをポールモールという）。かなりのヘビー・スモーカーで、一日の喫煙量約60本。

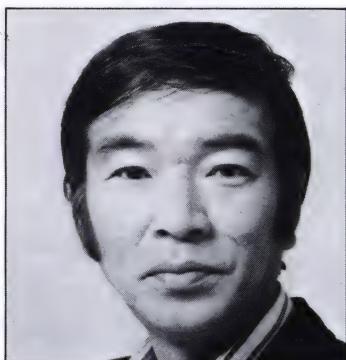
S＆W357マグナムM27リボルバー。強力な破壊力をもつ銃で、第二次大戦の名将パットン将軍が使っていたのもこれ。アメリカ最大のガン・メーカー、S＆W社が製作した最高傑作銃だ。

カッコマンのルパン三世、SSKはエンジンがタテ長でボンネットが高くてみっともナイ。だから、ボンネットが低くて有名なフェラリー12気筒エンジンを乗せてみた。ところが、それがあまりカッコ良くない。そこでボンネットはもとのままに直したのだがエンジンはそのまま。フェラリーのエンジンがつんであるSSK　まさに《夢の車》だ。

Lupin the 3rd

ヤル気十分の声優さんに聞いてみた

山田康雄／ルパン三世

●テレビではいろんな制約があって，大暴れしようったってもう一歩のところでストップ。それが，映画ではメチャクチャやっていいっていうんだから楽しいじゃないか。ウヒヒヒ。なんたってルパンさまの魅力は，女ったらしでズッコケ屋，それに奇想天外な行動にあるんだから，手かげんしてたら面白くない！新兵器に珍作戦，アッとおどろく大仕掛けをみせてヤル！

増山江威子／峰不二子

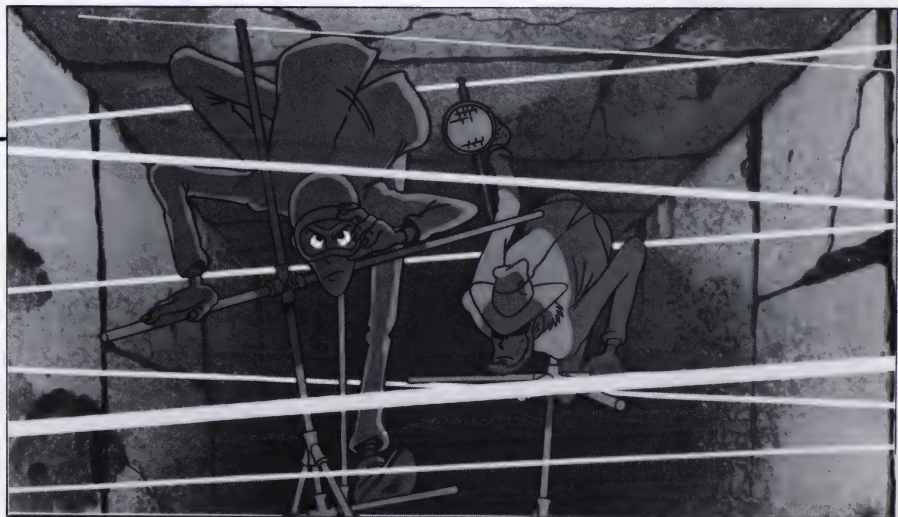
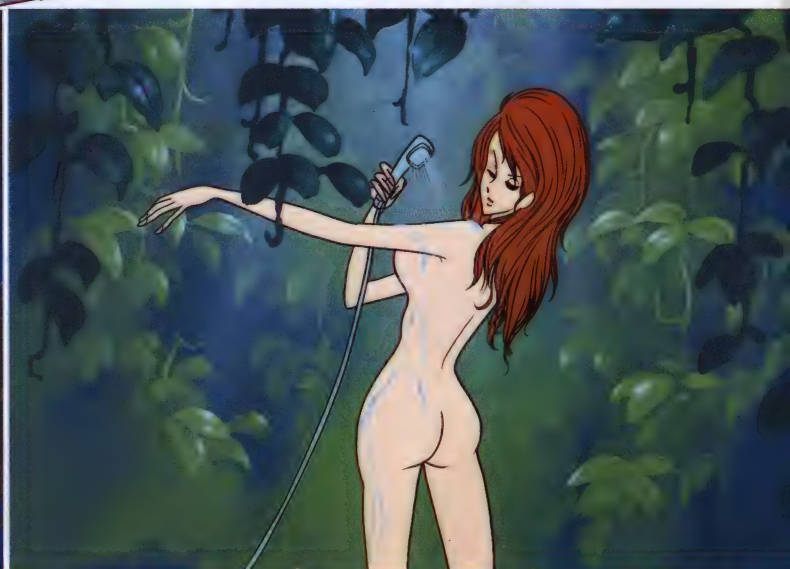
●薄情な不二子はキライ！という声もあるらしいけど，ドライで薄情なところが不二子の魅力。今回は初めての映画出演なんですもの，この魅力を思う存分みなさまにおみせしなくちゃ悪いわよネ，もちろんお色気も特別サービスよ。いままではお茶の間の外野席がうるさくて控えめにしていたけど，今度は思いきりセクシーになるワ，フフフ………♡

小林清志／次元大介

●頼りがいのある男，それが次元大介だ。今回は不二子狂いのルパンにあいそをつかしておサラバするが，ヤッパリ俺がいないとルパンはダメなんだナ。奴が危機一髪になったところで俺さまの登場ダ。スカッとした拳銃さばきで，主役のルパンを喰ってやるサ。

井上真樹夫／石川五右ェ門

●私はいつも私だ。無…………………………………………………………

納谷悟朗／銭形警部

●なに，死んだはずのルパンが生きているだと！奴を逮捕してからは生きる目的を失い無益な日々を送っていたワシだが，刑事の血がまたまたうずいてきたゾ！こうなったら，ルーマニアだろうがエジプトだろうがスペインだろうが，ルパンの行く所，世界の果てまで追ってやるぜ！

地球国自由村のルパン三世

原作者●モンキー・パンチ

無国籍映画と言う言葉があるとしたら，無国籍コミックと言う言葉があってもいいはずですヨね。そんな，コミックを描いてみたい……と思ってましたよ。当時ね……。

そんな考えから生れたのが，この〝ルパン三世〟なんです。

「日本人の心を詩う」とか「日本人の魂云々……」とかね。日本人であることを，ことさら強調した言葉って，どうも好きじゃないんですよ。

その点から言うと，この〝ルパン三世〟なんか，ぜんぜん日本人的じゃないでしょう。好きなんだなァ，そう言う生き方って…!! 世の中に，富や権力を独占してる人っているけど，わが〝ルパン三世〟は，そういう奴を見逃がさないものね。富や権力を一人占めにしている，その間抜けぶりを思い知らせてやることが〝ルパン三世〟の生きがいなんだと思いますヨ。

〝ルパン三世〟って，決して義賊ではないんですね。金持ちから盗んで，貧乏人に与えるなんて，そんな，カッコウ悪いことなんかしません。クールに，カッコウ良く自分の為に使いはたしてしまうのです。たとえば，１万円のブツを盗む為に，何億円と言うカネを使うことだって平気なんですから……。

現実ばなれしてるっておっしゃるかも知れませんが，いいじゃありませんか。〝ルパン三世〟の活躍ぶりを観ている間だけでも，現実の世界から離れていただきたいと思います。

ほんの一瞬でも，受験地獄，借金，交通地獄，税金，トラブル等々現実から逃避していただけたら，それだけでも〝ルパン三世〟が，生まれた価値は充分にあると思うんですよね。

〝ルパン三世〟は，地球国自由村の住民なんです。全世界が彼のねぐらでもあるわけですよ。だから，ひょっとして，今晩あたり，あなたの部屋の天井裏なんかで寝ているかも知れませんよ………。

★ルパン三世には生きたコミック感覚があるのだ!!

アニメ研究家●霜月たかなか

いわゆる「アニメ世代」という年令から，さらに一つほどさかのぼった世代のことを，僕は，自分を含めて，それを「前（プレ），アニメ世代」と呼んだりする。そして，それは「鉄腕アトム」以後のアニメで育ってきた彼等と違って僕らの，それに先行する二つのアニメ体験によるのだ。まさしくそれは〝体験〟だった。

では，そんな先行する二つのアニメ体験とは何かと言うと，一つは映画館で上映されたおなじみの「長編動画」（その頃はアニメーションなどとは言わなかった）と，もう一つはテレビで放映された「アメリカまんが映画」である。

ディズニーと，日本の長編動画による劇場用アニメについては，アニメファンならずとも多くの人が御存知だろう。では,「アメリカまんが映画」というヤツはどうか。「ポパイ」から始まって,「ヘッケルとジャッケル」,「トムとジェリー」,「ウッド・ペーカー」そしてキワメつけの「バックス・バニー」,等々今なら〝スラップスティック〟なる1語で全て語られてしまう。この野放図なバタ臭い(だってアメリカ産だもの！)アニメーションの数々。そしてこれらこそが，劇場用アニメと比肩すべき僕らの「前・アニメ」体験なのである。

あの「バックス・バニー」における，ロードランナーなる怪鳥とオオカミの追いかけっこをその頂点におく，アメリカン・テレビアニメ(！)はかって僕らを狂喜させ，アニメというものに対する一つの感覚まで決定してしまったように思える。〝スラップスティック〟では上品すぎて口に合わない。こう言いなおそう。〝コミック感覚〟,それが現在に至るまで，アニメに僕の視線を釘づけにしたところの1本の釘であり，なおかつそれは10年に近いブランクの後にさびつきかけている。もう1度，それを見ようと思えば，やはりアニメの中に見るしかない。しかし，今，テレビの画面の中にひるがえるのはすでにして星条旗ではない。ヒノマル，つまり国産アニメである。だからこそ，そう，だからこそ「ルパン三世」は重要なのだ。

〝コミック感覚〟はゲーム化された感性，といってしまっていいだろうか。そこには，感性の寄るべき重苦しい情念なぞカケラもない。あるのはひたすら〝軽さ〟であり，そしてアニメならこれに〝テンポ〟を加えようか。この二つから世界を作れば，その世界の入口にかかげられる表札は，現在やはり「ルパン三世」しかないと僕は考える。僕たちの世界を設定に置きながら，そこからルパンや，五右ェ門，そして次元らがひきだしてくる，決して現実の世界に見いだすことのできないあの感覚，さらに，ルパンと銭形警部の，つきざる〝永遠の追いかけっこ〟の復活，僕が「ルパン三世」を，あの〝コミック感覚〟の正統な後継者とするのは決して故なき事ではない。

でも，それだけでルパンを語りつくすには足りない。アメリカナイズされたハードなコミック感覚は,「ルパン三世」ではソフト＆メロウな装いの中に，一種の華麗さを伴ってあらわれる。大仕事の前に軽妙な会話とオトボケの中で机を囲むルパンと次元達が，いざ出発となってその表情をいくぶんこわばらせるときの描写を憶えているだろうか。ホルスターから抜いたワルサーを，その重さを改めて確かめるようにルパンが構えてみせる時，それはフィリップ・マーロウからショーン・コネリーの００７号を経て今またルパンにつながる〝男の美学〟のスタイル化であることに気がつかねばいけない。これはわざとらしさでありながら，なおかつ，軽さを土台にもつために，そのきめ方に何の不自然さをおこさせないという，アニメ・ルパン独特の華麗な美学なのである。このカッコ良さとコミック感覚は互いを必要としながら互いを強化する。それどころか，どちらか一方が欠ければもう一方も成立しなくなってしまうのだ。

ルパンの魅力は大きくここにある。

後はもうテンポの問題だ。原作においても，またアニメにおいてもそうであるように，「ルパン三世」はアクション・コミック（！）なのだから。

ワルサーをつかみざま横へひとっ飛びしたルパンが，数メーターは離れた草むらの中へ着地する。五右ェ門の愛刀が一閃し，ビルを根元から切り払う。次元のオートバイが空中で二転三転しながらなお，アスファルトの上へ平然と降りたつ。こういったシーンが洪水のごとくあふれて画面に並べば，もうそれだけで〝コミック感覚〟も〝カッコ良さ〟も言わずもがなだ。それらしく描いてありながらそれでいて現実には決してないこれらのアクションは，何よりもその二つのからみの中に僕らを魅了する。「アメリカまんが映画」から始まった〝コミック感覚〟は，カッコ良さと手を組みながら少し大人になり，今やもうアダルト感覚ですらあるのかもしれない。若いアニメ世代達より少し年上の僕だから，なおさらそう思わずにはいられない。荒唐無稽さ

は少しばかり年をくって「ルパン三世」の世界の中に再び姿をあらわしたようにも思える。だから僕は「ルパン三世」にひかれてやまないのだ。しかし，ここで「ルパン三世」を語り終える訳にはいかない。キャラクターの問題が残っている。ルパン以上にみのがしてはならないキャラクターがいるのだ。銭形警部ではない。紅一点，即ち，峰不二子である。彼女の存在に，たとえば僕などはひどくとまどってしまう。峰不二子とは何者か，と。ルパンの恋人という言い方は少しも当っていないし，しかもつまらない。彼女はルパンを平然と裏ぎり，だしぬいてみせ，時にはその命すら奪おうとする。ルパンの敵と手を組み，それが利と知れば銭形警部に密告することなど朝メシ前，とくる。だが，その逆もまた真なり。事実，彼女はルパンのよき相棒であることも多く相棒以上であることですらままある。では，いったい峰不二子とは，あのキュートな体と美しい髪と小悪魔的な唇の持ち主とは？

ところが，こう続けて書いてしまうと，もう彼女の正体は明らかになってしまう。つまり，今書いたような役割の持ち主こそが峰不二子であり，それ故に彼女は作られたキャラクターなのだと。何故かといえば，この書きつらねたような部分をルパンのストーリーから差し引いてみれば明らかではないか。その話の面白味は確実に３割ダウンだ。彼女の手によって複雑な話はなおいっそう迷路の中へ迷いこんでいきしかも，その同じ手で彼女は事件解決の糸をもルパンに投げかける。話を盛りあげるためは人質になってみせ，かつルパンの胸にナイフすらつき立てる。これが，あの魅力あふれる小柄な体を伴ってなされれば，一体，峰不二子以上に，誰が「ルパン三世」を面白くすることがかなうだろう。そしてその役割故に，この子猫ちゃんは，同じテレビアニメの中で「ルパン三世」を他の作品から一歩先んじたものにできたのだ。彼女はかの「ヤマト」の少女＝マスコットの森雪などというイモ(!?)から遥かに遠く，その魅力的な体のためでなく，その在り方において最も色っぽい，アニメの生んだ最高の〝女〟の１人なのである。

話の都合上「ヤマト」がでてきたので，最後はこれで決めてしまおう。日本版「スター・ウォーズ」は，「ヤマト」などでは断じてない。あの重苦しい玉砕アニメをもって，〝コミック感覚〟の集大成（あちらが本場だもの）である「スターウォーズ」と結びつけるなど目先違いもはなはだしいのだ。日本版「スターウォーズ」は，その〝コミック感覚〟のよりふさわしい持ち主である「ルパン三世」なのだ。僕はそう言い切る。

この映画を創った人々

★スタッフ

役職	氏名
製作	藤岡 豊
原作	モンキー・パンチ（週刊漫画アクション連載・双葉社刊）
脚本	大和屋 笠
	吉川 惣司
監督	吉川 惣司
監修	大塚 康生
レイアウト	芝山 努
作画監督	椛島 義夫
	青木 悠三
美術	阿部 行夫
撮影	黒木 敬七
録音	加藤 敏
編集	相原 義彰
音楽	大野 雄二
選曲	鈴木 清司
録音スタジオ	東北新社
現像	東京現像所
製作宣伝	P & M
製作補	郷田 三朗
	片山 哲生

★声の出演

役	氏名
ルパン三世	山田 康雄
峰不二子	増山江威子
次元大介	小林 清志
石川五右ェ門	井上真樹夫
銭形警部	納谷 悟朗
マモー	西村 晃
フリンチ	飯塚 昭三
山寺の住職	槐 柳二
古本屋の親父	北村 弘一
ゴードン	柴田 秀勝
スタツキー特別補佐官	大平 透
職員	島 俊介
警視総監	富田 耕生
科学者	村越伊知郎
警官A	宮下 勝
〃 B	広瀬 正志
〈特別出演〉	
エジプト警察署長	三波 春夫
大統領	赤塚不二夫
書記長	梶原 一騎

●製作データ●

項目	数値
製作費	5億円
製作日数	1年3ヵ月
使用セル枚数	62,000枚
総カット数	2,800カット
絵コンテ	575ページ
キャラクター設計図	196枚
色数	218種
スタッフ	1,315人
背景，メカのための資料写真	18,000点

定価 250円

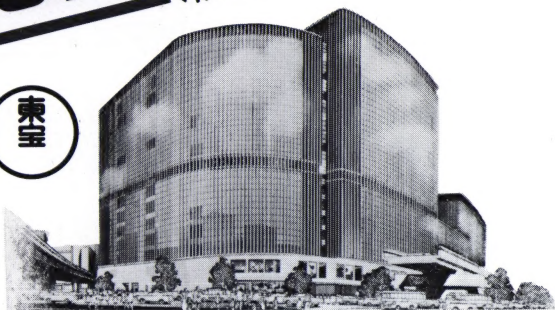
昭和53年12月16日初版発行
昭和59年 9 月15日改訂版発行
©
発行所 東京都千代田区有楽町1—2—1 東宝 出版・商品販促室
発行者 東京都千代田区有楽町1—2—1 大橋雄吉
印刷所 東京都港区芝2—1—28 成旺印刷株式会社

世界最高のAVシアター誕生!

★映画は最高の〝オーディオ・ビジュアル〟だ!

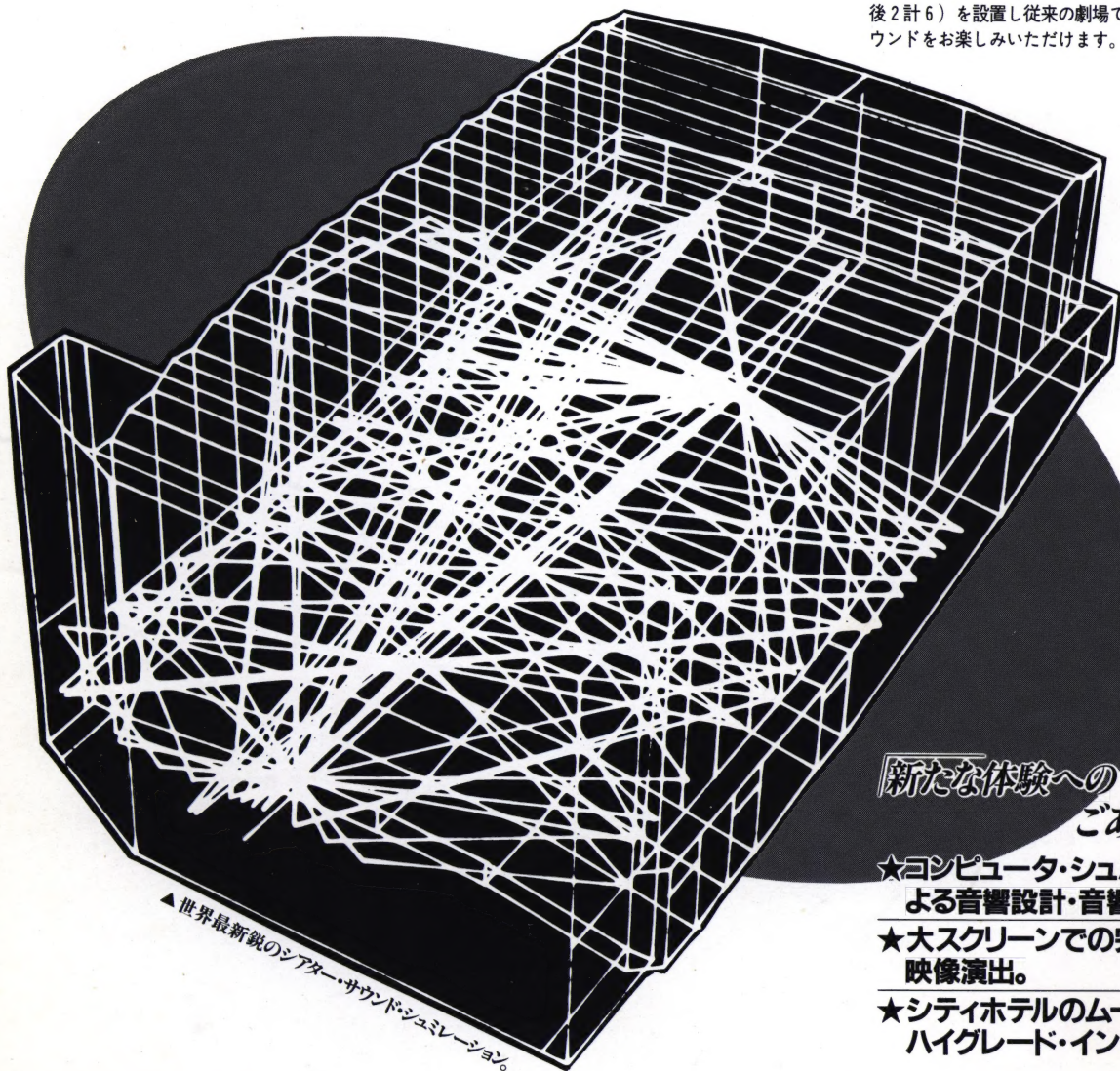
10月6日〈土曜〉新日劇オープン!

〈有楽町マリオン〉

東宝

映画劇場がコンサート・ホールを超えた!

最高の映像と音響を追求すると客席構造はワン・フロアーになります。完全な室内音響性能を追求するためコンピューターを駆使し、音響設計システムのシュミレーションによる各劇場の残響時間、エコータイム・パターン、音圧分布レベル及音線到達分布が算出され、新しい3劇場はコンサート・ホールを超えた音響効果が誕生しました。その結果、すべての客席に音が均一にとどき「どの席もすべて良い席」という目標が実現出来、この優れた音響設計を考慮し、最高のシネマ・サウンドを再生するため音響機器もコンピューター・デザインを行い各劇場に適した機種を設置しました。すべてのスピーカーとアンプは、アメリカ映画芸術科学アカデミーが推奨するALTEC社の〝Voice of Theatre System〟を設置し、ドルビー・ステレオ録音によるマルチ・チャンネル、ワイド・レンジ及重低音の再生に完璧を期しました。スクリーンのうしろに設置する5台のステージ・スピーカーの他に特に日本劇場では2台のスーパーウーファーを加え重低音専用と致します。又、サラウンド・スピーカー(壁に埋め込まれたウォール・スピーカー)は劇場用ステージ・スピーカーとしても十分使用出来る高性能のレコーディング・スタジオ用の2ウェイ・システム(日本劇場は左・右各3、後2計8、日劇東宝及日劇プラザは左・右各2、後2計6)を設置し従来の劇場では体験し得なかったシネマ・サウンドをお楽しみいただけます。

70mm
DOLBY STEREO

Voice of the Theatre
ALTEC
Sound Development

▲世界最新鋭のシアター・サウンド・シュミレーション。

「新たな体験へのごあんない」

- ★コンピュータ・シュミレーションによる音響設計・音響再生。
- ★大スクリーンでの完璧な映像演出。
- ★シティホテルのムードを創造するハイグレード・インテリア。

〈洋画ロードショー〉	〈東宝映画封切〉	〈洋画ロードショー〉
11F 日本劇場	9F 日劇東宝	9F 日劇プラザ

★TEL.3館共通 10月1日より開通 (574)1131